

# 胆沢平野



挨拶を述べる及川理事長

玉串奉奠を行う  
坂本東北農政局長

玉串奉奠を行う  
稻田東北地方整備局長

## 目次

- 1 表紙（放水式）
- 2 理事長挨拶
- 3 令和4年通常総代会
- 4 令和4年度予算概要
- 5 令和4年度事業計画
- 6 令和4年度配水計画・管理協定締結
- 7 令和4年度施設管理人名簿
- 8 基盤整備事業の推進支援
- 9 //
- 10 若き担い手紹介
- 11 円筒分水工の最深部初公開
- 12 令和4年度人事異動・お知らせ

令和4年5月  
No.152





## あいさつ

胆沢平野土地改良区 理事長 及川 正和

組合員の皆様方には、日頃より土地改良区運営にあたり温かいご理解と力強いご支援ご協力をいただいておりますことに、衷心より厚く御礼と感謝を申し上げます。

二十四節気の「穀雨」の時期であります4月21日に、今年の五穀豊穫を願う放水式を、感染対策に細心の注意を払い規模を縮小し、農林水産省東北農政局局長坂本様、国土交通省東北地方整備局局長稻田様を始め関係機関、関係団体の皆様方のご臨席をいただき開催いたしました。

放水式に先立ち4月16日と17日の2日間にわたり、胆沢平野の水争いの歴史を象徴する日本最大級の円筒分水工の最深部を、初めて一般公開いたしました。県内外から訪れた229名の方々（ユーチューバーや若い男女も多かった）に、水利施設の構造や農業用水の役割についての質問も多く、米作りと農業用水が一体であることの理解を深めていただいた次第です。

さて、令和4年度スタートに当たり、長期計画の目標であります「地域農業の創造」に向か、3月18日に令和4年通常総代会を開催し、対前年度比54,978千円増の総額1,429,720千円の当初予算を議決いただき業務に取組んでおるところであります。

特にも、本年度から胆沢平野版イノベーションとして「新しい生産方法の導入」と「新しい組織の導入」であります。これは、平成3年度から31年間にわたり本土地改良区が取組んで参りました大区画ほ場整備事業や水利施設の改修・維持管理で培ってまいりましたスキルを活かし、平成27年度に構築し、現在、個人担い手と法人担い手、合わせて64経営体で活用されております胆沢平野版クラウドシステムと合わせ、組合員皆様方の営農を手助けしてまいる所存であります。

また、今年度は重点目標の7項目として「農業用水安定供給の持続化」を掲げ、胆沢ダムの水利権を活用するため、稻置第2樋管の補修を実施し堤外地4.6haに安定した農業用水の供給を行う計画であります。

今年度から企画換地課を「ほ場整備推進課」と改め、重点目標の1項目にあります農業生産基盤整備の着実な推進支援を図ってまいります。

結びに、役職員一同、今年度も「仕事は組合員のために」を肝に銘じ、ほ場整備事業の着実な推進支援と農業用排水管理の徹底に務め、組合員の皆様方が無事豊穫の秋を迎えることが出来るよう、全力を傾けて取組んでまいります。



# 令和4年 通常総代会

令和4年通常総代会を3月18日（金）に開催いたしました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体温の測定、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの徹底を図りながら開催いたしました。

議長には、白山地区の千田時男総代を選出し、議事では上程した令和3年度収支補正予算、令和4年度事業計画並びに収支予算（案）を合わせた全21議案について慎重審議いただき、全議案原案のとおり決定いたしました。

このうち、稻置地区より要望されておりました稻置第一揚水機管理棟取り壊しと稻置第二揚水機管理棟取り壊し及び水槽埋め立て工事を実施し、適正な施設の管理を図ることとしております。



議長を務める千田時男総代



特別功労者表彰を受ける高橋由一町長



総代会の様子



祝辞を述べる 菊池力室長



祝辞を代読する 菊地厚農林部長



祝辞を述べる 高橋由一町長

来賓には岩手県県南広域振興局農政部農村整備室菊池力室長、奥州市長代理として菊地厚農林部長、金ヶ崎町高橋由一町長にご臨席を賜り、祝辞を頂戴しました。また、本土地改良区の組合員であり、4期16年間町長を務められました高橋町長に長年のご功績を讃え表彰状を進呈いたしました。



## 令和4年度 予算概要について

令和4年度予算総額は、14億2972万円となり、昨年度と比較すると、5497万8千円の増額となっております。

(単位：円)

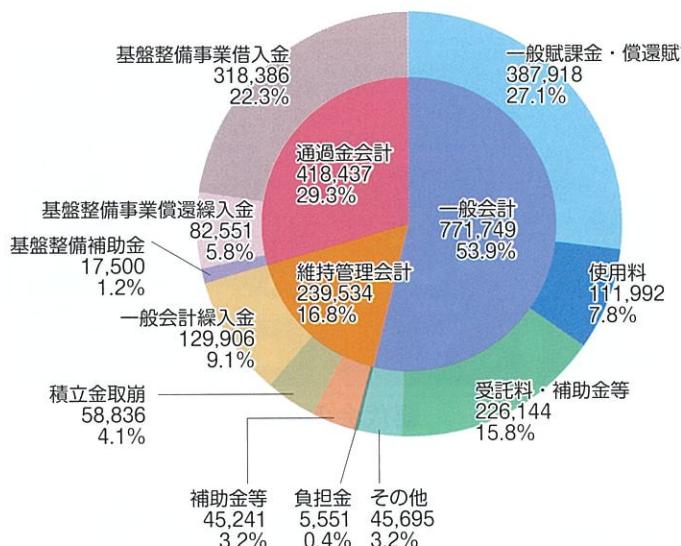
項目	令和4年度収支予算額	令和3年度収支予算額	比較増減
一般会計	771,749,000	768,320,000	3,429,000
維持管理特別会計	239,534,000	234,420,000	5,114,000
通過金特別会計	418,437,000	372,002,000	46,435,000
計	1,429,720,000	1,374,742,000	54,978,000

※1 一般会計：土地改良区の運営に関係する予算

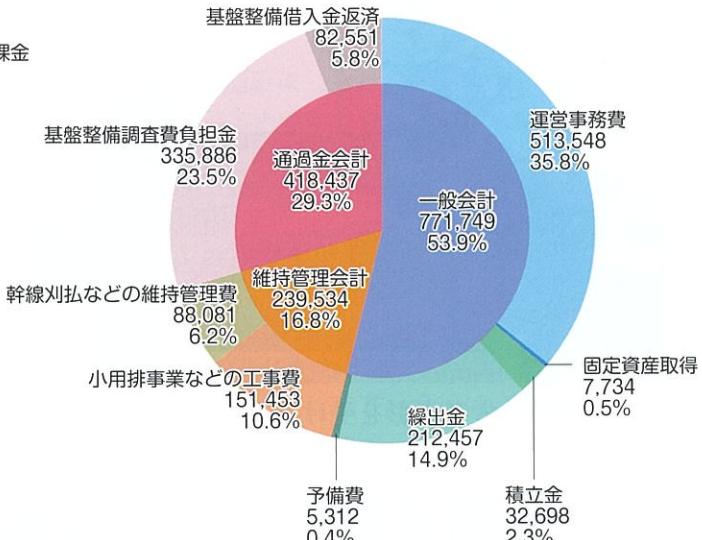
※2 維持管理特別会計：土地改良施設の維持管理に関係する予算

※3 通過金特別会計：農業農村整備事業実施における事業負担金・事業償還金から手数料を引いた額で基本的に削減することが出来ない予算

収入の部



支出の部



## 令和4年度 賦課金一覧表【10アール当たり】

### 一般賦課金（前年度と同額）

(単位：円)

区分	金額
一般地区	2,790
揚水機併用地区	1,953
揚水機専用地区	1,674
大歩、金入道地区	1,116
生母白山地区(畠)	279

### 幹線償還賦課金

(単位：円)

区分	金額
一般地区	500
大歩、金入道地区	200

※基盤整備事業に係る償還金は、地区ごとに金額が異なります



## 令和4年度 事業計画

### 一般維持管理事業

(単位：千円)

事業種別	地区名	工種	事業量	事業費	資金内訳		
					補助金	改良区	組合員
基幹施設事業	胆沢平野地区	水路	17箇所	19,600	—	19,600	—
小用排事業	水沢、胆沢、前沢	水路	1,100m	28,110	7,671	17,628	2,811
合 計				47,710	7,671	37,228	2,811



目地補修（基幹施設事業）

令和4年度要望箇所の水路にコンクリート水路を布設  
(小用排事業)

### 土地改良施設維持管理適正化事業

(単位：千円)

地区名	工種	事業量	事業費	資金内訳			施工場所
				補助金	改良区	組合員	
大桜除塵機	施設機械	一式	5,100	4,590	510	—	前沢



大桜除塵機（本体全景）



除塵機内部のキャリングチェーンの交換



## 令和4年度 配水計画（お知らせ）

胆沢平野土地改良区利水調整規程（令和2年3月19日議決）第7条に基づき、胆沢ダム水系並びに北上川水系の配水計画を次のとおりお知らせします。

### 【胆沢ダム水系配水計画】

水系名	地域	水利権取水総量 (t/年)	水利権最大取水量 (t/秒)		取水期間
			代掻期	普通期	
寿安・茂井羅水系	若柳、小山、南都田、佐倉河、水沢、真城、姉体、古城、前沢、白山、永栄	143,124,400	16.000	15.411	代掻期 4月21日～5月 5日 (15日間)
					普通期 5月 6日～9月10日 (128日間)
西南部水系	若柳、小山、前沢	36,590,400	4.657	3.514	
穴山水系	若柳、小山	14,649,120	1.663	1.524	

### 【北上川水系配水計画】※ポンプによる配水

揚水機名 (基数)	地域	水利権取水総量 (t/年)	水利権最大取水量 (t/秒)		取水期間
			代掻期	普通期	
白山揚水機 (2基)	前沢生母	5,731,516	0.656	0.529	代掻期 5月 1日～5月10日 (10日間)
二渡揚水機 (2基)	黒石二渡、前沢生母		0.527	0.451	
内堀揚水機 (1基)	黒石内堀	488,784	0.200	0.200	普通期 5月11日～8月31日 (113日間)
大明神揚水機 (1基)	黒石大明神		0.103	0.079	

## 基盤整備事業で造成された施設の管理について協定を締結

基盤整備事業で造成された農業用排水施設について、農業用排水施設の適正な管理を行うことを目的として各地区の基盤整備施行委員会と農業用排水施設の管理区分を定め管理協定を締結しております。

令和4年2月9日、新たに四ツ屋地区、真城西地区、北下幅北地区、北下幅中地区、北下幅南地区の5地区の施行委員会と管理協定を締結いたしました。これまでの管理協定締結地区は合計で39地区となり、今後とも農業用水の安定供給と施設の適正な管理について管理組合と協力して取り組んでまいります。



四ツ屋地区 高橋 善行委員長



真城西地区 佐藤 吉郎委員長



北下幅北地区 松本 秀一委員長



北下幅中地区 高橋 芳昭委員長



北下幅南地区 阿部 正三委員長



## 令和4年度 施設管理人名簿

水利施設（水門や揚水機等）の管理をお願いしております。

9月10日までの通水期間中、組合員皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

番号	区分	地区名	施設名	管理人氏名
1	溜 池	若柳	十三軒	植 松 郁 男
2	溜 池	若柳	大清水	渡 邊 博 幸
3	溜 池	若柳	萩 森	植 松 郁 男
4	溜 池	若柳	愛 宛	菊 地 十三夫
5	溜 池	若柳	鳴 沢	安 倍 豊 喜
6	溜 池	若柳	万治屋敷	村 上 壽 仁
7	溜 池	若柳	野 中	佐々木 広 彦
8	揚 水 機	若柳	宮 坂	渡 邊 博 幸
9	揚 水 機	若柳	横沢原	下河辺 良 治
10	除 塵 機	若柳	宮坂除塵機	渡 邊 博 幸
11	スクリーン	若柳	愛宕H取水工	渡 邊 博 幸
12	スクリーン	若柳	愛宕K取水工	渡 邊 博 幸
13	スクリーン	若柳	箸 塚	阿 部 規
14	水 門	若柳	下堰袋	佐々木 守 男
15	水 門	若柳	堰 合	菊 地 敬 記
16	溜 池	小山	万 内	千 葉 栄
17	溜 池	小山	長 堤	小野寺 清 一
18	溜 池	小山	駒込三堤	鈴 木 哲 也
19	溜 池	小山	土手渡	吉 田 力 雄
20	溜 池	小山	中沢三堤	岩 渕 幸 男
21	溜 池	小山	与四郎	佐 藤 幹 男
22	揚 水 機	小山	二ノ台	岩 渕 幸 男
23	水 門	小山	大 畑	村 上 春 男
24	水 門	小山	新田堰	吉 田 誠
25	除 塘 機	小山	駒込除塵機	黒 沢 清 文
26	揚 水 機	小山	1号揚水機	佐 藤 幹 男
27	水 門	小山	北赤堰	高 橋 宗 男
28	水 門	南都田	京徳田	石 川 千 早
29	スクリーン	南都田	小十文字・大持	石 川 正 剛
30	スクリーン	南都田	駒木分水	岩 渕 秀 雄
31	水 門	南都田	鶴田分水	高 橋 重 博
32	水 門	佐倉河	富 田	永 井 充
33	水 門	佐倉河	高 堤	三 宅 務
34	除 塘 機	水沢	大 鐘	後 藤 和 良
35	スクリーン	水沢	小違堰後田	小野寺 健 寿
36	揚 水 機	真城	植 田	中 澤 善 美

番号	区分	地区名	施設名	管理人氏名
37	水 門	真城	苅 又	小 平 哲 匠
38	水 門	真城	長泉寺	遠 藤 一 見
39	水 門	真城	塙加羅	千 葉 芳 範
40	スクリーン	真城	志田見沢	千 葉 紀 夫
41	スクリーン	真城	中 林	深 澤 信 男
42	スクリーン	真城	宮 沢	佐々木 諭
43	水 門	真城	瀬台野	佐 藤 則 穂
44	揚 水 機	姉体黒石	檜 田	佐 藤 典 義
45	水 門	姉体黒石	水ノ口	佐 藤 正
46	水 門	姉体黒石	須 江	佐々木 光 生
47	揚 水 機	姉体黒石	内 堀	佐 藤 克 恵
48	揚 水 機	姉体黒石	大明神	佐 藤 克 恵
49	揚 水 機	姉体黒石	二 渡	菅 原 辰 郎
50	スクリーン	古城	栗生沢	小 澤 和 雄
51	スクリーン	古城	板子沢	千 田 市 治
52	スクリーン	古城	明後沢スクリーン	阿 部 政 勝
53	スクリーン	古城	狼ヶ志田	小野寺 和 彦
54	スクリーン	古城	養ヶ森	市 村 吉 男
55	揚 水 機	白山生母	白山・沖沼	佐々木 安 彦
56	揚 水 機	白山生母	天王谷起	吉 田 壮 一
57	水 路	前沢	第7号用水路	石 川 芳 雄
58	水 路	前沢	第8号用水路	佐 藤 弘 行
59	溜 池	前沢	一町歩	村 上 喜美雄
60	溜 池	前沢	高 堤	鈴 木 松 雄
61	溜 池	前沢	出 口	浦 川 公 悅
62	溜 池	前沢	千代治(1)	佐 藤 弘 行
63	溜 池	前沢	千代治(3・4)	高 橋 英 基
64	溜 池	前沢	三町歩	千 田 秀 雄
65	揚 水 機	前沢	太郎ヶ沢(1・2)	小野寺 俊
66	揚 水 機	前沢	大 桜	及 川 青 一
67	溜 池	前沢	半 蔵	蜂 谷 庄 一
68	溜 池	永栄	北 沢	高 橋 一 夫
69	揚 水 機	永栄	谷木前	柴 田 晃
70	水 門	永栄	中 島	小 原 隆 久
71	水 門	永栄	大屋敷	阿 部 光 明



# 農業生産基盤整備の着実な推進支援

## 令和4年度県営農業農村整備事業計画調査地区決定

令和3年9月28日付けで岩手県に申請を行っておりました八幡谷地地区、永栄地区につきまして、令和4年4月4日に計画調査地区に決定されました。両地区とも促進委員会並びに関係組合員皆様のご尽力の賜物であります。今後は、調査1年目に行われる現況調査、従前地調査が県営事業として進められます。土地改良区としても1日も早い事業完了に向け、地元促進委員会並びに関係機関と共に着実な推進支援に取り組んで参ります。

**や わた や ち  
八幡谷地地区**

**位置図**

**地区内の状況**

**設立総会であいさつする及川委員長**

県営経営体育成基盤整備事業  
八幡谷地地区促進委員会設立総会  
令和4年4月22日

**地区の概要**

八幡谷地地区促進委員会 委員長 及川辰郎

令和4年4月22日設立	受益面積 86.7ha	受益者数 114名
-------------	-------------	-----------

受益地域 奥州市水沢佐倉河地内

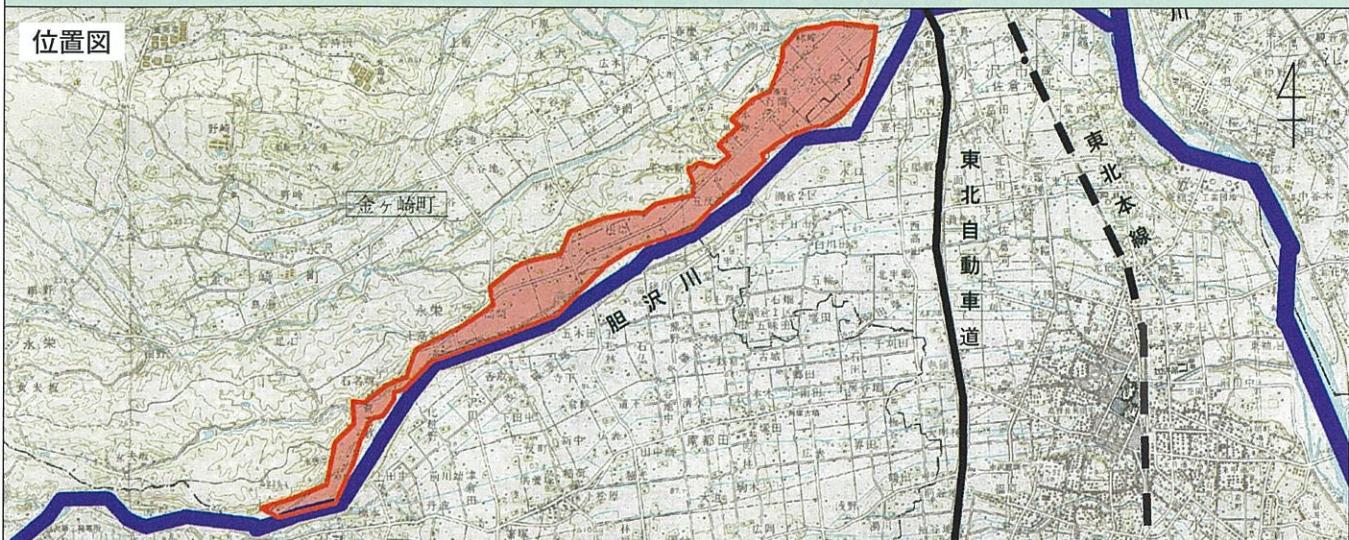
八幡谷地地区は奥州市水沢佐倉河地内の東北自動車道水沢インターチェンジの東側に位置し、国道4号線とJR東北本線に囲まれた地域であります。平成29年度に検討委員会を発足し八幡地域、谷地地域を中心に、その後、佐野地域が加わり、3地域で基盤整備事業の検討が進められ、現在の一定区域となりました。

胆沢城跡地に隣接する埋蔵文化財包蔵地であるため、調査に時間を要しましたが、令和4年4月4日計画調査地区に決定されました。営農ビジョン策定では有限会社下館農産と3名の担い手へ96.4%を農地集積する計画となっております。



## なが さかえ 永栄地区

### 位置図



### 地区の概要

永栄地区促進委員会 委員長 柴田健一

令和2年7月9日設立

受益面積 285.8ha

受益者 202名

受益地域 金ヶ崎町永栄、奥州市水沢佐倉河地内

永栄地区は、金ヶ崎町永栄と奥州市水沢佐倉河にまたがり、西側は上永徳寺の字小歩から東側は百岡の字川原田まで、東西に約9キロの胆沢川沿いの区域であります。

平成28年度に検討委員会を発足し、基盤整備事業の検討が重ねられてきました。当初農地中間管理機構による基盤整備を計画していましたが、県営基盤整備事業へ変更し、令和4年4月4日に計画調査地区に決定されました。

永栄地区は平成9年から16年まで県営土地改良総合整備事業が実施されました。現在の場では営農に支障をきたしており、早期事業完了が熱望されています。

営農ビジョンの策定では何度も検討を重ね、新設予定の2法人に100%集積する計画となっております。

## 検討地区の状況

県営基盤整備事業の導入検討地区として、早期の計画調査地区申請を目指し、現在は勉強会や地区説明会などを進めております。

## こじょうなんせいぶ 古城南西部地区

### 地区の概要

古城南西部地区検討委員会 委員長 阿部正義

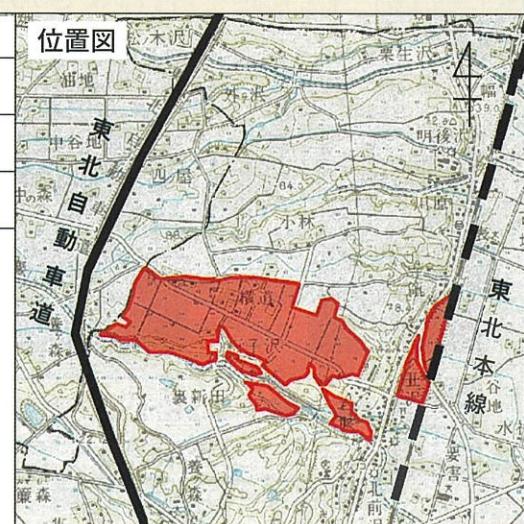
受益面積 100.0ha 受益者数 112名

受益地域 奥州市前沢古城地内

古城南西部地区は、前沢古城の南西部に位置し、東北自動車道とJR東北本線の間に挟まれた約100haを受益地としております。

平成30年に基盤整備事業の要望が高まり、地元の有志で事業導入検討がなされ、その後、令和2年には古城南西部地区基盤整備事業準備委員会が立ち上がり、地域で話し合いや説明会が行われています。

土地改良区では、計画調査事業導入に向け、営農ビジョンや構想図の作成、説明会等について支援を行っています。





## 地域農業を創造する担い手育成支援の充実

未来の胆沢平野を創造する若き担い手をご紹介します。

**佐倉河**

**及川 哲也さん (37歳) 綾子さん (39歳)**



経営  
内容

水稻 (主食用米) 29ha

高校卒業後、最初は農業（水稻）をしていた父を手伝う形で始め、徐々に受託面積を増やし、主食用米の水稻29haを家族経営で行っております。今では経営を父から任されるようになってきました。経理は奥さんの綾子さんが行っていますが、綾子さんも結婚後大型特殊免許を取り、トラクターなど機械作業もしています。（その時は見学者が来ることもあるそう。）

農繁期は6人の子供たちにも手伝ってもらえるよう、段取りや日程調整をして時間的有效活用するように工夫しています。その代わり、農閑期の夏と冬は子供たちと遊べるよう時間をとり、レジャー やアウトドアスポーツを楽しんでいます。メリハリをつけて頑張る事が、自分も含め家族のモチベーションに繋がっています。

**南都田**

**阿部 正勝さん (43歳) 阿部正三さん (父)**



経営  
内容

水稻 (主食用米) 25ha  
大豆 10ha

妻子（子供3人）がいるので悩みましたが、4年前に専業農家になりました。実際就農してみると農業は難しく、やる事が沢山あり、これで満足ということがない、勉強の毎日です。今は父が経営、自分は機械を預けられており、昨年度に胆沢平野では初のドローン直播を始めました。他にも疎植、密苗などに挑戦しています。機械操作に関して父は何も言いません。それが、続けられる一番良いところだと思います。今の悩みは、働く人が少なくなっていく事です。特に草刈りは今の面積でも限界で、これ以上経営面積を増やす事は難しいと思っています。今後は、経営を父に学び、人を雇用できるようになりたいです。同世代の若手農業者が増えてくれる事を期待しています。

**前 沢**

**佐藤 祐太さん (31歳)**



経営  
内容

水稻 (主食用米) 8ha  
ピーマン (ハウス・露地) 0.3ha

令和4年2月に達成県知事から39歳以下の地域農業発展と、農村地域活性化に意欲的に取り組んでいる優れた農業者として「岩手県青年農業士」に認定されました。

基盤整備の目的が「担い手育成」であるのに、同世代の若手が育成されていない事に危機感を抱いています。現在はピーマンと稻作のバランスを取って経営しています。儲かるためには面積を増やしていく事も大事ですが、自分はこだわりを持って、美味しいと高く売れる米を作りたいです。米は産地全体で、「多収低コスト」と「食味品質向上」のバランスについて真剣に考える時がきています。そのため、若手の農業者の交流が必要と感じています。また、大先輩方にも、若手農業者の育成に大らかな気持ちでの支援をお願いしたいです。

奥さん募集中です。こちらもよろしくお願いします。



## 土地改良資産を活用した農村振興 “土地改良区による農村振興”



4年目の「水土里の皆廊」がスタートいたしました。

期間は、農業用水の通水開始に合わせた4月21日（木）から11月3日（木）までの197日間の開催です。（通水は9月10日迄）

昨年度から継続し、サブタイトルに「Countryside history」を掲げ、「過去と現在の技術が混ざり合い、悠久の思いがオーバーラップした胆沢平野の歴史」を体感する企画としております。

皆様から「自分の住んでいる地域にこんな場所や歴史があるんだ！」と発見することができて、とても楽しかったです！ありがとうございました♪」などの声が数多く寄せられており、地域に存在する貴重な歴史的水利遺産や、新たな技術で造られた土地改良施設に理解を深めていだだく機会になっております。

また、昨年11月には葦名堰神社に鳥居を設置しており、より神秘的なパワースポットに生まれ変わりました。

今年度もたくさんの皆様をお待ちしております！



## 『日本最大級の円筒分水工』最深部を初公開しました

令和4年度水土里の皆廊のメイン企画として、日本最大級の円筒分水工最深部を初公開するイベントを4月16日（土）、17日（日）の両日に開催いたしました。

当日は晴天に恵まれ、県内外から2日間で計229名にご参加いただきました。

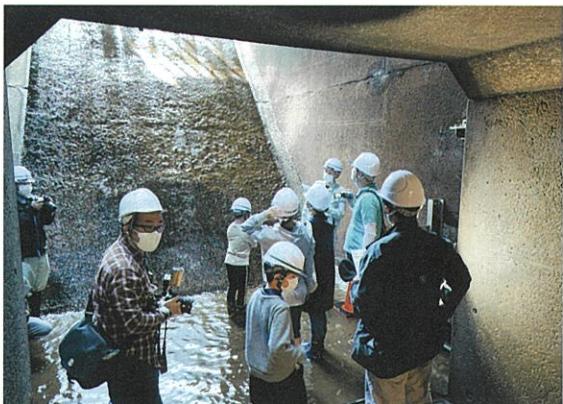
新型コロナウイルス感染症対策として、受付時の検温、手指消毒を行った上で、ソーシャルディスタンスを確保するため、入場を1日10回、最大で20名に分けて見学していただきました。

遠方から参加した長野県の方は、「以前から円筒分水工に大変興味があり、ホームページでイベントを知りぜひ見てみたいと思い参加した。実際に最深部に入ると、整流層から水が湧き上がる仕組みがよく理解できた。」と感慨深い様子で内部を探索していました。

過去の水争いの歴史から二大水系である茂井羅堰と寿安堰に公平に農業用水を配分するため、農業土木技術者の英知を結集し造られた円筒分水工の構造について、多くの方に理解を深めていただくイベントとなりました。



仮設通路、階段を通り分水槽へ下りる参加者



水が湧き上がる仕組みについて積極的に質問する参加者



## 令和4年度賦課金納期限のお知らせ

一般賦課金	納期限 第1期 第2期	令和4年 5月 2日（月） 令和4年11月30日（水）
償還賦課金	納期限 第1・2期	令和4年11月30日（水）

賦課金を納期限までに納付されない場合は、督促状が発行され督促手数料100円が加算されます。また、その未納金額に対し、滞納日数に応じて年**14.6%**の延滞金が加算されますので、期限内に納入下さいますようお願いします。納入いただけない場合は、差押え手続きを行うことがございます。

### 賦課金・使用料の納付には便利な口座振替をご利用ください

取り扱い金融機関	岩手ふるさと農協、岩手江刺農協、ゆうちょ銀行 岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、水沢信用金庫、東北労働金庫
----------	---

- 口座振替へ変更を希望される方には、申込用紙を送付しますので賦課徴収課までご連絡ください。
- 口座振替依頼書の申込用紙は、ご希望の金融機関窓口に提出いただきます。
- 口座振替の手続きには、1ヶ月程度かかりますのでお早めに申し込みください。**

## 土地改良区への届出をお願いします

組合員の資格に異動があった場合	農地を転用する場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>農地の権利異動 (売買、交換、贈与、賃貸借契約または解約など)</li> <li>農業者年金の受給、後継者へ経営を移譲された場合</li> <li>組合員が亡くなられた場合</li> <li>組合員の住所が変更された場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地を宅地など、農地以外に転用する場合</li> <li>農地が道路など、公共用地で買収された場合</li> </ul> <p>※農地転用や公共事業（道路買収等）で地区除外されると、転用の意見書交付と同時に「決済金」の納入が必要となります。</p>

**必ず！改良区へ届け出ください。公共機関（市、町、農業委員会、農地中間管理機構、農協等）とは連動しております。**

問い合わせ先 賦課徴収課（TEL：0197-24-0171）

### 令和4年度 職員の人事異動について

（令和4年4月1日付）

氏名	旧所属				新所属				
	課	係	職名	兼職	課	係	職名	兼職	備考
小野寺和人	総務		課長	賦課徴収課長	総務		課長	ほ場整備推進課長	
石川 康幸	企画換地		課長		水利整備		課長		
小原 朱美	水利整備		課長		賦課徴収		課長		
菅原 宏昭	企画換地		課長補佐		水利整備		課長補佐		
佐々木 稔	水利整備		課長補佐	施設係長	ほ場整備推進		課長補佐		
野村 弥	賦課徴収		主査		水利整備		主査	施設係長	
佐藤 勇一	企画換地	企画	係長		賦課徴収	賦課徴収	係長		（賦課担当）
渡辺めぐみ	企画換地	換地	係長		総務	経理	係長		
千田 智和	総務	経理	係長		ほ場整備推進	換地	係長		
阿部 知行	賦課徴収	賦課徴収	係長		賦課徴収	賦課徴収	係長		（徴収担当）
今野 徹	企画換地	換地	主任		ほ場整備推進	企画	係長		
後藤 弘利	水利整備	施設	主事		ほ場整備推進	換地	主任		
千葉 遥奈	総務	総務	主事		退職				[3月31日付]

**編集後記** 今年は、「水土里の皆廊 春のつどい」と称して、日本最大級の円筒分水工最深部を初公開しました。参加者も多く、予約申込みで対応したところです。4月21日の放水式も徳水園記念碑前にて放水祈願神事が執り行われ来賓者も参列されました。  
これからは農作業も一段と忙しくなるところです。新型コロナウイルスも終息しない中、ロシアのウクライナ侵攻により農業機械燃料の高騰など大変な状況であり、一日も早く終息してもらいたいものです。

### 広報編集委員

委員長：加藤豊文（総務担当理事）

編集委員：高橋優恵、村上潤（総務課）

佐藤貴浩（ほ場整備推進課）

菅原宏昭、及川寿寛（水利整備課）

佐藤勇一、石川美香（賦課徴収課）